

# 肌性状の変化からみた乳酸菌生成エキス摂取の評価

■ (株)ビーアンドエス・コーポレーション 八王子研究所

## 【要約】

『乳酸菌生成エキス』飲用による「肌のキメ」改善効果を調べるため、幅広い年代層の健康な女性8名を対象にモニター試験を実施し、「肌のキメ」状態の変化を観察した。その結果、被験者全員において飲用前と比べ「肌のキメ」に明らかな変化が認められた。特に飲用3ヶ月目では、**キメを構成する皮溝がきれいに整い、キメ細やかな肌に変化している様子**が観察された。

## 【方法】

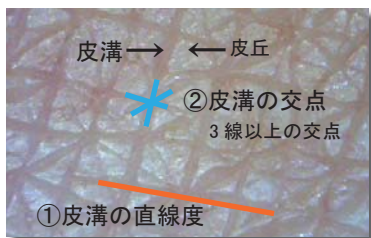
被験者は、健康な女性8名（30代/2名、40代/2名、50代/2名、60代/1名、70代/1名）であった。試験期間中の生活は通常と変えることなく、『乳酸菌生成エキス』製品を毎日1本（10ml）、3ヶ月間飲用してもらった。飲用前、飲用1ヶ月後、飲用3ヶ月後に上腕部内側の皮膚のレプリカを採取し、デジタルマイクロスコープを使用して画像を取得。その後、皮溝の直線性と皮溝の交点数において解析（Photo1）を行った。

## 【結果および考察】

すべての被験者において、飲用前と比べ肌性状の変化が認められた。肌のキメを構成する皮溝がきれいに整い、皮丘の形も良い、キメ細やかな肌に変化している様子が観察された（Photo2）。特に飲用3ヶ月目では、はっきりとその様子が観察され、キメの整い具合を評価する「皮溝の直線性」およびキメの細かさ（粗さ）度合いを示す「皮溝の交点数」が飲用前と比べ、有意に増加していた（Fig.1 and 2）。

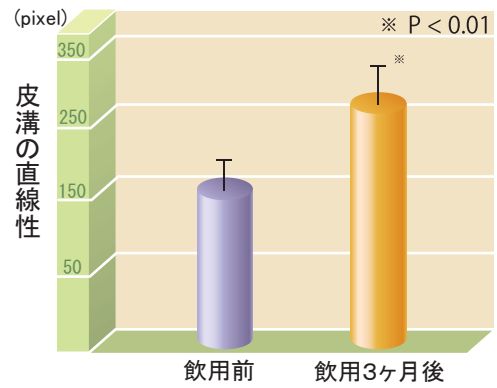
腸内環境と肌状態は密接に関係し、肌状態は腸内環境を反映する1つの重要なパラメーターである。『乳酸菌生成エキス』の飲用により、腸内環境が整い、その影響が肌にも反映されたものと考えられる。

Photo1. 肌の表面構造と評価パラメーター



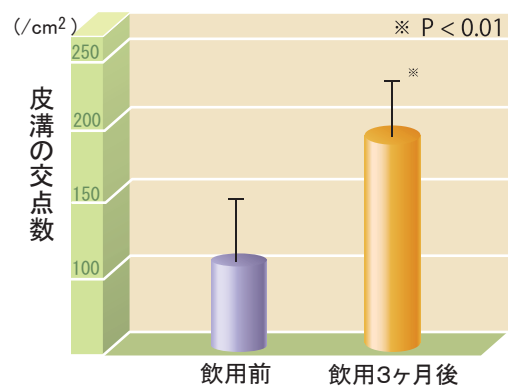
- ①皮溝の連続する直線の長さを計測し直線性を評価
- ②単位面積当たりの皮溝3線以上交わる点を計測

Fig.1. 皮溝の直線性評価（キメの整い具合）



飲用により直線性が増し、肌のキメが整った

Fig.2. 皮溝の交点数評価（肌のキメの細かさ）



飲用により交点数が増え、キメが細かくなった

Photo2. 肌レプリカのマイクロスコープ画像

